

台風7号

1993年 (平成5年) 8月10日



1997年 (平成9年) 9月16日

国土交通省 九州地方整備局延岡河川国道事務所



苦難の歴史を経て生まれた岩熊井堰



岩熊井堰 岩熊井堰付近の水神様

水神さまと畳堤(たたみてい)

延岡は昔から豊かな水と自然景観に恵まれていましたが、同時に水害との闘いの

歴史でもありました。それは、水神さまが数多く祭られていることにもあらわれています。 五ヶ瀬川を中心に川の周辺に点在する水神さまを流域のみなさんと調査し、98箇所 の水神さまを確認しました。この水神さまや延岡の市街部にある畳提(河川の増水時に 畳みをはめ込む堤防で全国的にも珍しい)から、いかに水害防止を祈願していたかがう かがえます。

畳堤は川とともに生きた先人の治水対策の知恵で、住民が協力してまちを守ったシンボルともいえます。

CONTENTS

1993 3	気象の概況	1
	出水状況/浸水区域図	2
	水防警報発表状況	3
	出水写真	4~7
	五ヶ瀬川 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
平成5年 台風7号	大瀬川	5
	北 川	6
	祝子川 ······	7
	新聞記事	8~11
	夕刊デイリー	8
	宮崎日日新聞 · · · · · · ·	10
17号	読売新聞	11

気象の概況	12
出水状況/浸水区域図	13
水防警報発表状況	14
出水写真	15~18
五ヶ瀬川 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
北 川	17
大瀬川	18
祝子川 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	18
新聞記事	19~22
夕刊デイリー	19
宮崎日日新聞	21
読売新聞 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
水害史年表	23~25

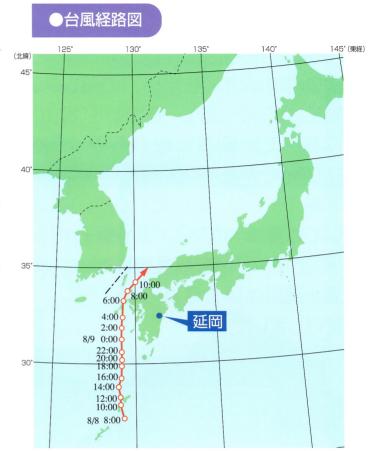
洪水の概要

平成5年

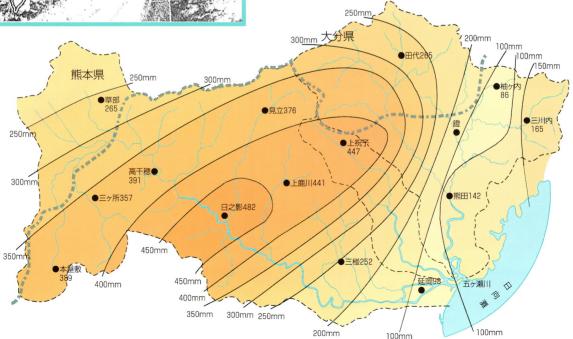
気象の概況

1993年(平成5年)8月2日15時にグアム島の南海上で発生した台風7号は、勢いを増しながら北上し8月9日11時には中心気圧940hpa、最大風速45mと超大型台風に成長していました。9日20時から10日6時の間に、記録的な雨量を観測し1時間に高千穂で75mm、日之影で71mmを記録し、8日の降り始めからの雨量は日之影で482mm、上鹿川で441mmに達しました。





●五ヶ瀬川流域等雨量線図



平成5年



五 子 末 記

台風7号の接近に伴い、8月8日夕方 より河川が増水を始め、10日5~6 時にはピークに違し、五ヶ瀬川(松山) において計画高水位 (H·W·L)を 0.06m、大瀬川(三ツ瀬)で0.18m を越えました。また北川(熊田)にお いても警戒水位を2.13m、祝子/// (祝 子)で1.47mを越えました。



過不冈甚図

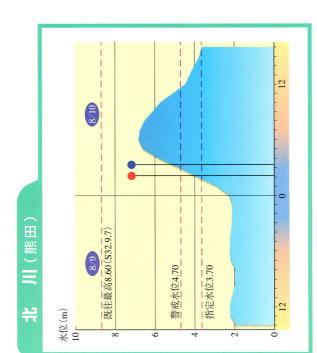
浸水した地域を図示したものです。 五ヶ瀬川沿川を中心とし北川・祝 この漫水区域図は平成5年8月 10日の台風7号での出水により 子川・大瀬川沿川に被害が及ん でいるのが何えます



報発表状況 火死

平成5年8月10日の台風7号での水防警報発表状況を河川の水位の経過ととも こ追ってみました。

祝子川(祝子)



役場の機能マヒ状態

25

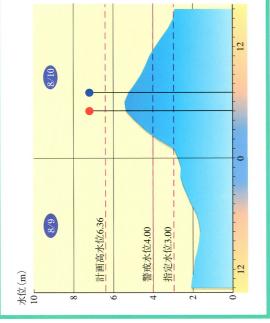
金出

五ヶ瀬川は過去最高の水位を

記録しました。

県北記録的な大雨

膵婦高子穂鉄道宙づり



2:10水防警報 (待機) 第4号発令 3:20水防警報 (出動) 第5号発令

読売新聞

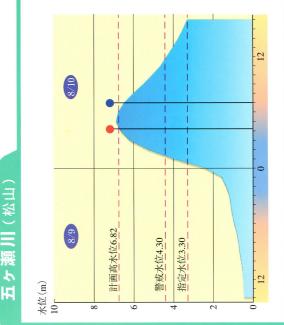
1993年(平成5年)8月11日

十瀬二 (三ヶ瀬

5:00第3次避難勧告 7:00避難勧告解除 8/10

6/8

水位(m) 10 c



計画高水位5.5

指定水位2.50

警戒水位3.50

4:15第2次避難勧告 7:00避難勧告解除

口 但 灘

0:30水防警報(待機)第1号発令 0:40水防警報(準備)第2号発令 1:20水防警報(出動)第3号発令

3:20第1次避難勧告 7:00避難勧告解除 2:30避難協議

Q

平成5年

1993年(平成5年)8月10日台風7号 五ヶ瀬川



ら板田橋を望む 亀井橋か

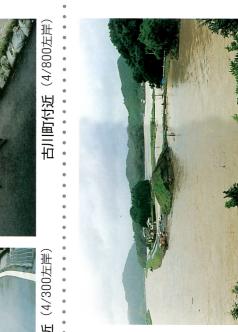




亀井橋



古川町付近 (4/300左岸)



(8/150左岸) 天下町付近

(4/800左岸)

古川町付近





(2/300)延岡大橋





日豊本線鉄道橋





安賀多橋付近

(3/800)



大瀬橋



三須町付近



平成5年

1993年(平成5年)8月10日台風7号

級子川



(平成5年)8月10日台風7号 1993年 三 17 17















(0/300右岸)

昭和町付近

(0/200右岸)

昭和町付近

(0/500右岸)

川原崎町付近







水尻町付近 (1/800左岸)



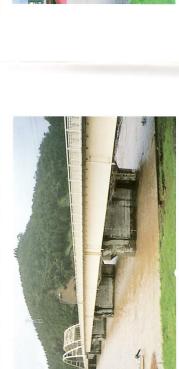








(3/500左岸) 川島町付近



(3/800左岸) 川島橋



祝子橋



(0/700右岸)

川原崎町付近

(0/600右岸)

川原崎町付近

(3/000左岸)

川原崎町付近の国道10号線





回民 1 正

○三郎で兼全党文 (人の様な金額が大き 学になか。マトンない(今後)四部立つの名が分を 第二郎 国地大の (人名からから) 「本本の大学 (大学など) 「本本の大学のは、「本本の大学のは、「本本の大学のなって、「大学など」という。 「本本でなり、「日本でなった。」 日本では、「本本でなった。」 「日本では、「日本は、「日本では、「日本では、「日本のは、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本

批車ごと転落か期 細細 見 川 へ

転寄した単が見つかった ない。

仮設橋が流失闘闘

崩土でら棟が全半壊 禁縮幸いけが人なし

午前の時半)よう壁とともに解れ落ちた、高干銀町三田井の民家(2日

(平成5年) |田(水)

1993年(8月11日

1993年(平成5年) 8月12日(木)

基本計画の見直しも

翻禁で 臓で は に 計画 高大 に 起えた



通信機能 濁水でなかった

(2) Oo - coxxct. 最大 (2) Oo - coxxct. 最大 (2) Cox - coxxct. 由大 (2) Coxxct. 由大 (2)

広火後も膝側続けた取火臓 「今後は台風前に禁機停止する」

広報、給水の方法を再検討



今後の数調に

では、1990年と、1990年に、2008年に、2008年に大きない。1990年に、2008年に、

ない。これでいるまでは、「大きなである」と、「大きなできない」と、「大きなできない」と、「大きなできない」と、「大きない」、「大きない、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない、「大きない」、「大きない」、「大きない」、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、

かぎがかかっていた指定施設

を出げ

lilii ЩЦ

- WALLS MENTAGEN	THE THE PARTY NAMED IN
о <u>п</u>	に別いの頭蓋を記録。 3日午前日時からの一時間
午後5時 狂殴市が警戒本	生物の政功が 五子衛川の
把 /数編。	川陽劫成石籬成水白外欧
午後5時 推築、路梁、北	我。
繋だ、 田銀町 なってらる日本語	水。在民が自主課題。
製別460°	午前一時 证图内扩大的警
午後月時 北方町首木の有	理本語を設置。「川の水が
線及はい誤離してようにい	
とないのけ。誰もなく「彼	着り1357開発表。

た。 た。 と所が子三部で で用口 井 あちこちで土砂崩れ 同日 井 あちこちで土砂 高千穂町押方で5人危機一髪

日之影町でも 巡回や区長ならを指げてもの レンの吹鳴、広報車による 市災害が疾す命は、サイ 五ケ瀬町でも



水楽しになった北方町役場(午前に時半)



1993年(平成5年) 8月10日(火)

『猛烈な雨と風だった B 悝

る年 臣 验 N Ш

لد 国

HU

北方



場大事間 ほど は ズタズタ

眼鏡は国連部は駆の吐台一してよろぞさんちやってき一久、 態は約1、

誤論 養殖場を見に行って災難 の結晶へ移った。まちなろ、今朝期さんが集の六年なったため、中間一時代の

1993年(平成5年) 8月10日(火)



1993年(平成5年) 8月11日(水)

津波のような濁流 町襲う |限って泥水を排水。玄関前 | 載せたが、水の勢いが強く | 部ぬれてしまった。

の町谷場に鑑託が流わ込ん瀬川がは入ら入し、同町卯十日未明、北方町で五ヶ だ。役場の電話は不道にな り、延岡市に通じる唯一の

同日午前十時すぎ、国道状態となった。 の水が引き、役場に向かっ た。国道をはの五ヶ瀬川は ら連ばれた樹木や土砂が覆っていた。 路上には、川かの 週流が渦巻き、また流れは、 い、道路下の住宅は浸水し

「塗仮のように水が繋っ

が、一階の机の上にはなれ、一手の端末様が出されていた。 には、ぬれたコンピュータ て、重型、で流水を掛かっては、変刺作・変刺を 五ヶ瀬川はんらんの北方町 1 一な 場の機能 ٦, ۲,

俊

と状態 どずぶぬれ

た書類が山積みのまま。一 ほどまであった水位の跡が顔の柱には、高さ一・三ぱ 課、町具筆などをあり、い路は生民電性、総務、結婚、協協、結婚、登場は鉄節一階建て。一くっきりと残っていた。 たば町の中板機能。 九日皮は篠眞十人が待機 「年前一時ごろ、川の水という。 という。 民らら役場一階に退難したしたが、浸水後、近くの仕

U が国道と高子観鉄道の線路 と、 総務課料的交通係の告一(三型)は「住民基本台級や税 田御館さん(四・)。

40

孫、国民年金、会計などを 町はコンピューターを使 登録しており、みんな住民 のコンピューター本体も一人のテープを保存している人が今年四月から復働。そ続したバックアップシステっての総合情報が放うステーに関係するものばかり。録言にコンピュータのほうでは、 ので助かったが、本体が作 - 女 て、書類がぬれてしまった」 電算課の団本守男さん 動するのは、業者の検査が

電話も十回線のうち八回ぼう然とした表情。すまないとわからない」と 様が不通となった。 佐藤町 長は「町民に役場の状況が るかわらない」と響わたに戻るのない。とかわらない」と響われた。 しまでかかき 選絡の半数はできず、正常で連絡した。 しかし、感りすらないため、 明明は、 日間になまった。

(森 純一) 表情を見せた。

1993年(平成5年) 8月11日(水) 8月11

1000

詞完新

2市町村で 郷人 選難

床上、床下浸水も叩戸

九日夜から十日未明にかけ、県内は台風七号の孁風城に入り、各地で最大疑問風速三十五好以上の突風が 約れならて一人が死に入人がけがをした。立ヶ瀬川ならがあられ、 床上、 床下浸水は六目(参りにのぼり、飲食気れた。 球小の田部をつた他にいた部への 内容の 十十日上途日前部の明確 ののまとかにふるて、がけてきてきてきては、 明しいと思うすらの書きます。 二十二 | 市町村で約九千二百人が遊離した。諸塚村内では電話回線がすべて不遜となり、道路の寸断、冠水で

た。森瀬道院大水に油口、部区では十日末町、五ヶ瀬、町が南木で、200mmに、12mmの大川、12mmの大

田女女 第十二年次の「大きない」になっていたが展展を開発を対しています。 「「大きない」とは、大きない。 「大きない」とは、大きない。 「大きない」と、大きない。 「大きない」と、「大きない」と、「大きない」」と、「大きない」と、「大きない」」と、「大きない」と、「大きない」と、「大きない」」と、「大きない」と、「大きない」」と、「大きない」と、「大きない」と、「大きない」」と、「大きない」」と、「大きない」」と、「大きない」」、「大きない」、「大きない」」、「大きない」、「大きない」、「大きない」」、「大きない、「大きない」、「大きない、「大きない」、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「大きない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「

よ影方

田北

所は無人だった。 一村神門で五百八点、権実村 風さん含の万豚舎に、近く 敷から十日未明にかけてど。 敷から十日未明にかけてど 町山線等 箋球塞田辺里二 した。 県北の薬師は九日寮十日午雨一時っろ、 東郷・上日本町一時っろ、 東郷・山田四十一 『广海

見立で六百四十三元、南郷 さろ、五ヶ湖町奏野内、殿麻までの劇量は、日之影町 さらに、同日午前一時半風域を抜けた十日午前十一 の縫いけが含った。

してけが多した。 ときにガラスけを踏むなど さんの家族四人は逃び出す が倒れ、住宅が半場。甲斐 禁甲斐に対さん同・万壌山 減、ジス、五ヶ海町桑野内、勝山

ガスのにおいが立ち込めた(い日午前り時況分)開出目前のパチンコ屋に上手が崩れ落ち、ガスボンベにも被害。 風中 100

景

雪

四水で四川町城屋敷一帯はまるで第の道。五十参川に岸約100年で対り入れ車前の岸原水橋が収復 不能になった(午前6時50分階形) (年前4時旬分、中小企業センター) 勧告。公共施設に緊急課題した市民たちを超えたため延囲市災害対策本面が選問 百万衛、大領、初子の三河川が御戒水位



五十部川の船が 植砂に電数。 筋すれずれに 田原らが土の (午煎7時55

まひしている北方町位場(午前1時叩分) 五ケ瀬川がはんらんして印字ぶりに隣の高さまで元水。

1993年(平成5年) 8月11日(水)

県北記録的な大雨

Etxamo 高子穂鉄道宙づり

日午前等時一分)、宮崎市日原市油銀三九・七が(十七八県内の郷大路間風速は

ペン・ のなは悪いと思わる。 なないと思いる。 ない、 を持ついるできた。 では、 を表しているです。 を表しているです。 では、 を表しているです。 では、 を表しているです。 を表しています。 を表しているです。 を表しているです。 を表しているです。 を表しています。 を表しているです。 を表しています。 を表しているです。 を表しているです。 を表しているです。 を表しているです。 を表しているです。 を表しています。 を表しているです。 を表しているです。 を表しているです。 を表しているです。 を表しているです。 を表しています。 を表しているです。 を表しているできます。 を表しているできます。 を表しているできます。 を表しているできます。 を表しているできます。 を表しているできます。 を表しているできます。 を表しているできます。 を表しているできます。 をまたす。 をまたする。 をまたす。 をまたする。 をまたななななななななななななななななななななななななななななななななななな 体的線フた。 。"、複字数四回 I回。"など

て手ヨチさんを直撃した。 南れ、生家の家を突き返っ が高さ的ハン、幅的十五以 証問書の関ベでは、第山 見つかった。 砂に埋まり死んでいるのが 子さん。が目を近くて土 彫即が井川、養殖客様山正

分、延囲作曲川原町) ボート(2日年前分割のパートの仕員を選ぶ パートの仕員を選ぶるます。 床上原水し、孤立したア

1993年(平成5年) 8月11日(水)

和意当七枚終わられ







延岡市で加人選難

北方町役場は機能まひ



田を鑑用から内容が着れ

(平成5年) | 田(水) 1993年(

lilin 台国7

平成9年



9/13 9:00 140° 9/17 9:00 135 9/14 21:00 9/14 9:00 9/13 21:00 9/15 21:00 台風経路図 9/15 9:00 125° (北韓) 45°

阿家の恵沢

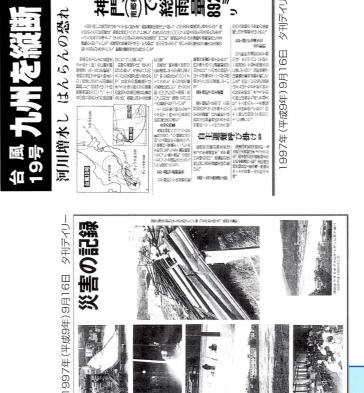
風19号は、勢力を増しながら九州に接 ていました。た。その後も勢力を保ちな がら、鹿児島県の枕崎市に上陸し、九州 1997年(平成9年)9月4日9時にウ ェーク島の東南東の海上で発生した台 最大風速45m/sと超大型台風に成長し 近し、13日3時には中心気圧930hpa、 を縦断しました。

間に三川内で55mm、上祝子で61mm を記録し、13日の降り始めからの雨量は、 曲ヶ内で655mm、上祝子で717mm 16日に記録的な雨量を観測し、1時 こ達しました。

五 分 状 沿

台風19号の上陸に伴い、16日の朝方より河川が急激に増水を始めました。本 |||よりも支|||の祝子|||・北|||こ降雨が集中したため、祝子|| (祝子) で6.70mと 計画高水位6.36mを0.34m超え、また北川(熊田)でも昭和32年9月7日の既 往最高水位8.60mを1.27m超えました。

五ヶ瀬IIIこおいて最高水位6.77m、大瀬IIIで最 高水位5.49mを記録しました。



神門(輸)で絵雨量的"。

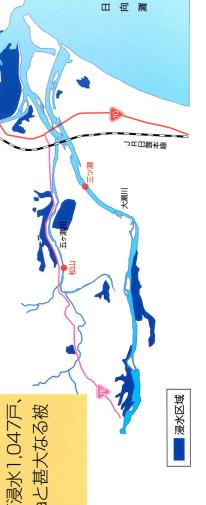
この漫水区域図は平成9年 9月16日の台風19号での 出水により浸水した地域を 図示したものです。北川沿 ||を中心とし五ヶ瀬|||・祝子 ||・大瀬||沿|||こ被害が及 んでいるのが伺えます 過火冈棋図

五ヶ瀬川流域等雨量線図

大分県

熊本県 20pr

浸水1,148户、床下浸水1,047户、 河川氾濫等により延岡市では床上 田畑の冠水562haと甚大なる被 害を受けました。



@

計水写真

台画19号



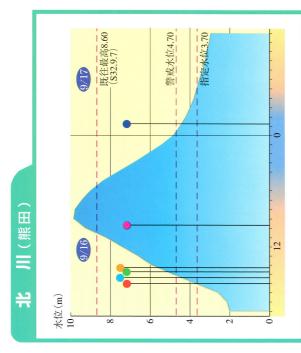
平成9年

水防警報発表状況

平成9年9月16日の台風19号での水防警報発表状況を河川の水位の経過とと もに追ってみました。

祝子川(祝子)

水位(m) 10 L



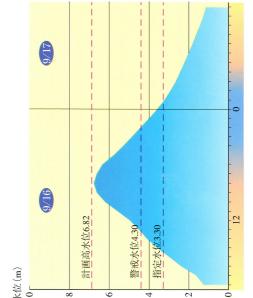
計画高水位6.36

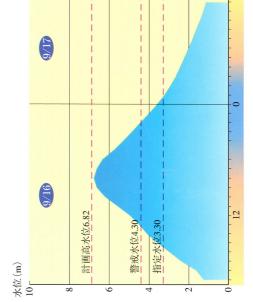
警戒水位4.00

8:40水防警報(準備)第2号発令9:10水防警報(出動)第3号発令 8:00水防警報(待機)第1号発令

1:10水防警報解除 9:45第4号発令







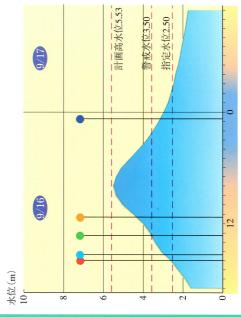








大瀬川(三ツ瀬)



8:40水防警報(準備)第2号発令 8:00水防警報(待機)第1号発令 10:40水防警報(出動)第3号発令

9

12:40第4号発令≥3:10水防警報解除

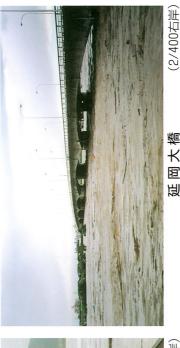
1997年(平成9年)9月16日台風19号 田ヶ灘三



大武町付近 県道延岡港線



(0/100右岸) 東海町付近



延岡大橋



岡富町付近

(3/500左岸)

岡富町付近

(4/600左岸)



延岡河川国道事務所前



延岡市立図書館 (地下駐車場浸水状況)



1997年(平成9年)9月16日台風19号

17 27

台風19号

1997年(平成9年)9月16日台風19号 田ヶ灘川



山町付近

(1/200右岸)

ニツ島町付近

(0/200左岸)

東海町付近







(3/600)

川島橋付近



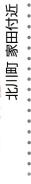






(8/100左岸) 天下町付近







旭化成(株)東海工場

北川町 熊田橋付近

北川町 本村付近





鰡に自主張観をはじめた。 から公民館や小学校の体質

神門(輸)で総雨量的"」

^ほ河川はんらん、大きなつめ跡

EG9

確ひ。 中央大阪までの祖田墓は大の 十二日午後大阪かの十八年

2

が限いましまけます。 ので中間に解験のさき、この数くださいから 一部を呼ばれば本日でと呼ばくださいから か気がインー整備社

台麗18号

んのんの影や

河川増水し

か 写 ディリー

也 1999

1997年(平成9年) **9月16日(火)**

1997年(平成9年) **9月17日(水)**

の 順

画

111

Ш

10

皿

0)

平成9年

997

台風19号

Hilio

淵詞

台画19号







智侍県幾城伎府

(0/400右岸 大武町付近

鐵工団地付近

人民門



(0/500右岸) 川原崎町付近

(0/600右岸)

泹

Ţ

田

讏

巡



川原崎町付近

) 卦/66 [級小月

大瀬橋より安賀多橋を望む

1

0)

三

111

LL

10

皿 0

平成9年)

(7/000右岸)

三須町付近

(0/600右岸)

 $\overline{\Sigma}$

田

雪

ভ

 \equiv

(0/600右岸

BI

台属の呼ば

は、全集や床上、床下憩の十七日までの調べでを表した。各市町村での調べて、を予断はなど、なって、はでは、なって、なって、はでは、大きない。なって、大きない。なって、大きない。 水の液管に置った主家は ニチ五百戸を超えてい 水田が冠水、工場が農業る。収穫前の普通水箱の **停止になるなど、農林大** 産業、商工業などにも採 刻な打撃を与えた。今後

▷無金数

延留市は床上浸水九百五

戸、床下圏水八百十戸の被 一戸、床上浸水三十三戸、 舎が出た。北方町では全頭

床下浸水三十八戸があっ

□ 万米下海水ン下。 ・ 一部大きでは、海線はは、大き球大き、 大部門は大きな、 大部門は大きな、 大部門は大きな、 大部門は大きな、 大部門は大きな、 大きな、 大きな 大きな、 大きな 大きな、 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 期——即は西州川で床上浸 浸水四戸、床下浸水六戸。 増えるもようだ。 の調査で、被害はさらに

北川町では、住家は全襲 田、鶴野内などでも百二十

東瞥門かは|||火・力な 延岡市浦城では養殖ハマ なので、製品そのものは影 チに生けすが壊れ 「千二百 響はないが、こん②が被害 被災家屋伽戸超える

円。ナスやネギなども一キ

北浦町は約五十六の水田万円近い被害。

が埋没したり、冠水するな どした。 農林水産業で総額

約四千三百二十万円の被害

水稲は冠水、工場停止

害は一千五百三十万六千 ▽水産業が汚水。倒伏などによる数 被害。

998年(平成10年)

9月16日(水)

十万円の被害。十月一日か 延四鉄工団地=延岡市大 は、プレハフ棋の掲載や鏡」「帯に送電する影響が一部らオープンするあゆやな、既町=も敷地が全面預水。
オアロの茶舗、十月一日は、 超階級工団巣=延原ドス を表し、基本・中学的である。 日本の大きない。 現場は大学のことである。 現代では、日本のは、日本のでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、 運行を行っている。週間け 南郷村は水田九十五だで 冬受けた。工場や事務所が 田、古川で道路に担により

万円、数井はイヤイアに回 をあけた。

参は一下五百三十万六十 な、アラストン・フ製品が出るがある。 毎日である。 を示している。 をでしている。 をでして、 をでして、 をでして、 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 を

1997年(平成9年) 9月19日(金)

北川・台風四号 水害から1年

被災者の不安今も

大水雪を引き起こした昨年の台風的号襲来から十六日

将来への不安という立ちを抱えた生活は今の歌く。北川 鱗り渡さないための吻きも本格化している。 音が活ふたまひした。単命への尚な合った町民たろの、 微質災害対策特別策急事業(微時送)」とはせ、惨事をで一年。北川町では、北川のほからんで町機能、年民生 明を求める声も見ばした薬ぎってきた。両による「両川

「この一年、収入がほとんが、恐怖の瞬間は脳嚢に焼き 四%にもなる。 裏作物なども

間忘れ

恐怖の配

と一千万円。被害の大小にかどなかった上に、損害はざって」に、損害はざった。 かわらず、どの家も苦しんで 川坂の大工兼斎応楽を営む作いる」と力なくつぶやくのは、
大才らず、との家やきしんで 激減 膝宗市さん(ペニ)。 部院が押し 寄せた川坂は、百十五世帝中、 3 浸水を免れたのは約二十世界 佐藤さんは卓粛、牛舎、舟 だけだった。 またなられたのは終こ十十日本 4 確を失い、白宅は床上一がま 期をあきらめ、家の修復に守 で水に頷かった。被災後は仕

念。一人で牛舎兼倉庫、車庫 を建てた。「雑匠所もみんな い。手伝いを組める人手も金自分の家のことで鞘いっぱ もない。またこうこう環境に ていくしかない」と自らを置 同じく川坂で長男夫婦、孫い立たせるように結した。 五人と暮らす庶武様子さん (4年)は、関係の名目前に続き た群策の家が確信に消えた。

日のことを思うと残も眠れなは人ごとではなかった。あの 今春再び新しい家を関で や面もあったけをつかんだ。いって打ち用けた。

朱

五百万円にも上った。 合めた被害総領は四十六億m 日分にするる。 思り替える 人災か不可抗力か

今回の水害について町民 たといい、北川ダムの操作がは、川の水位が一気に上がっ をそのまま政流した時期と重時期は同ダムが流れ込んだ量大きな要因と見ている。 その

末少縣会が特別委員会を設 乗りだし、公民館連協もほぼけて今年一月から原因究明に 同時にダム管理者の大分県に ダム操作の説明を求めた。 九項目の要求の趣旨は再発防 止の背置だった。

七百三十万、、の洪水調節容量同県は六月、町などに対し、 を干二百二十万。た拡大する

登点を興磨したい」と同原行 ころした中で住民組織の彼いる状況にある。川田田の大田では、その作業が見けられて

災者の会(上田恒東代表世話 夕程出や対応の方針次第では 人)は、大分県と今月八日に 訴訟に発展する事態も予想さ の分析で指摘した。いまの 人が行った操作の旗りを独自 初次巻を持ち、この中で同文 £100

調和取れた改修を

一つの焦点は来月上旬まで

に出れれる回惑室の回答。 回

3

の検討結果を受けた後とな 司事業は一九九七年登め ら、五年間で事業費百九十億 円五千万円をかけ、北川町・ 北川大楂から延岡市・延岡洋

(委員長・杉尾哲宮衛大教授) 北川「川づくり」検討委員会 本語書や地址は大学で

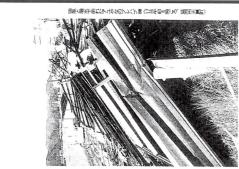
いう大規模なものとなる。まで十六・大"を整備すると」
上川才能ならるのは、ない。 北川の事業は河川法が環境 保護の視点を入れて改正され 検討委は公開で行われており

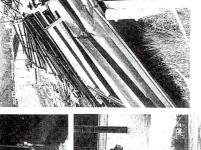
「治水、利水、環境の調和の 建設省と県は七月の第四回方針だという。取れた改修をすべき」という 表面会で、近川政務学編条を

担業。これを受けて十六日に 論の詰めの段階に入る。

1998年(平成10年) 9月19日(土)

災害の記録











th

配

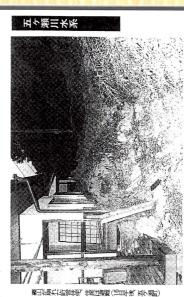
如



| 14-25年77-20年27日 | 14-25年27-20年27日 | 14-25年27-20年27

決水、海に





通派に永设し (16日午後3月

ボランティア

なってきた。延岡市ボランアクループの活動も衝発に復旧を手伝うボランティ

ティア協会会員三十人がき のうから、町内で泰仕活動

「天災だから…窓りのぶつけようがない」 ボランティアも支援



しているのをはじめ、きょ 道の駅で食料炊き出し うは延岡工業高校のポラン ティア団体会、生産会、野

8

e iji 1.画印

li ini ЩЩ 死傷者11名/家屋全半壊流失63戸/家屋浸水

17

多

皿

18年

平 盟

咖

死傷者177名/家屋全半壊流失15237戸,

画

10

雪

枕

9月

20年

屋浸水4760户

死傷者不明者276名/家屋全半壊流失

12

画

繼

日6

8年

戸/家屋浸水8435戸

S

死傷者不明者38名/家屋全半壞流失

画

10

ID

ih

6月

24年

延岡市船倉町

\$18.9

家屋浸水5779户

115 117 淵



1997年(平成9年) **9月18日(木)**

「みるみるうちに水が」

「下民孫子母懿海は上衛」 近行わせ家園がめ、5万の間 なりた。 「はいけばのは、 「はいけばのでは、 「はいけばのでは、 「はいけばのでは、 「はいけばのでは、 「はいけばのでは、」

戸/家屋一部破損98600戸/家屋浸水5839

戸/橋梁流失50ヶ所/堤防決壊52ヶ所

死傷者不明者37名/家屋全半壊流失88戸/家

叩

D

画

11

皿

 ∞

29年

邱岡市柳沢町

\$18.9

屋一部破損531戸/家屋浸水4945戸

死傷者不明者126名/家屋全半壊流失1297

卟

S

画一

10

0

29年

戸/家屋一部破損5906戸/家屋浸水19507

工

死傷者不明者370名/家屋全半壊流失17574

ス台風

7

皿

0

26年

死傷者不明者28名/家屋全半壤67戸/家屋浸

水4176戸

画

小

7

6月

26年

死傷者不明者34名/家屋全半壊1180戸

台風

キジア

9月

25年

浸水1102

家屋被害は、県内四十四

人) ▽床下浸水 下三百九 延爾市など計約1万九千世 住民の遊離物告は、日南、 ――という状況。 十棟(二子二百五十五人)

帯、約八万八千人にのぼっ 世帯、千九百三十六人が5十十人。このほか、六百三十十十人。このほか、六百三十二百四十六世帯、四十二百二七。実際に盗難した人は4

主選離した。消防防災課の と退離者のキャップはある が、各市町村が安全民僚生

死傷者不明者12名/家屋全半壊流失40戸/家

卟

1

画

10

8月

32年

屋一部破損72戸/家屋浸水394戸/堤防決壊

項傷二人を含め計五人。一人(国奮町)、負傷者は城市、北川町)、行方不明

料の配布のほか、今後予定 SINO

確保しなければならないと、機能駅間をそれぞれケイや 「下兄弟子御鉄道は上路」 「「大房下 再鉄路道」 「大房下 中東鉄道」 「大房下 中東 小房、 下部 大阪 下間 大場 である。」 「ちった 末れ 計画 大学 できます。」 「ちった 下記 上記 は 上記 できます。」 「おった 下記 上記 は 上記 といます。」 「おった 下記 といます。」



橋けた流れ部分連転

延水して操

業ストップ

担化成束荷工場 接案をストップしている。 で冠水し、十六日午後から 縦工場が台座十九号の影響 延岡市水尻町の組化成果 復旧に努めているが、操業 再開には早くても数日から 一週間はかかる見込み。同

1997年(平成9年) 9月18日(木)



8





36年

負傷者不明者7名/家屋全半壊流失18戸/家屋一部破損150戸/家屋浸水540戸/堤防決壊

8年

三三

10

皿

0

36年

10ヶ所

死傷者不明者5名/家屋全壤3戸/家屋一部破損

叩

9

匣

10

I

 ∞

延岡市中島町より安賀多橋

台風12号

829.9

|2戸/家屋浸水247戸/橋梁流失12ヶ所/堤防

損214戸/家屋浸水2665戸/堤防決壊33ヶ所

死傷者4名/家屋全半壊流失43戸/家屋-

卟

0

風」

10

100

32年



延岡市柳沢町大瀬橋

台風 12号

829.9



															1000	Parties and the second	
	被害状況	死傷者不明者7名/家屋全半蠖流失19戸/家屋一部破損17戸/家屋浸水367戸 家屋半壞1戸/家屋一部破損8戸/家屋浸水73戸	死傷者24名/家屋全半壞109戸/家屋一部破損509戶/家屋浸水2650戶死傷者6名/家屋全半壞52戶/家屋一部破損255戶/家屋一部破損255戶/家屋浸水63戸	死傷者24名/家屋全半壞85戸/家屋一部破損 212戸/家屋浸水3985戸 死傷者19名/家屋全半壞19戸/家屋一部破損 66戸/家屋浸水869戸	死者1名/家屋全壤1戸/家屋一部破損16戸/家 屋浸水66戸 家屋全壊1戸/家屋一部破損6戸/家屋浸水28戸	家屋全半坡8户/家屋一部破損21戸/家屋浸水 116戸 家屋全半壊5戸/家屋一部破損16戸/家屋浸水 1戸	家屋全壊1戸/家屋一部破損2戸/家屋浸水 572戸	負傷者7名/家屋全半壞8戸/家屋一部破損 117戸/家屋浸水406戸	死傷者6名/家屋全半壞6戸/家屋一部破損7戸 /家屋浸水1938戸	負傷者7名/家屋全半壞3戸/家屋一部破損24 戸/家屋浸水78戸	負傷者19名/家屋全半壊34戸/家屋一部破損 293戸/家屋浸水1194戸	負傷者1名/家屋全半壊12戸/家屋一部破損 256戸/家屋浸水1戸	家屋浸水593戸	死者2名/家屋全半隻12戸/家屋一部破損8戸/ 家屋浸水1393戸	死傷者10名/家屋全半壊54戸/家屋一部破損 26戸/家屋浸水784戸	死傷者5名/家屋全半壞18戶/家屋一部破損74戶/家屋浸水1081戶延岡市家屋浸水79戶/橋梁被害2ヶ所(8/1時年)	家屋一部破損10戸/家屋浸水3970戸 延岡市道路被害5ヶ所
THE PERSON	出水原因	台風14、16号	台風 19号	中風23年 1	台風 18号	台風 1 7 号	大區	台風16号	台風20号	台風13号	台風 19号	台風10号	₩	帐	台風]]号	台風 13号	台風10号
	卯	8月	8	8	日6	E 6	7月	日6	10月	日6	10月	7月	9月	7月	8月	8月	日 6
	中	昭和39年	46年	46年	49年	51#	54年	54年	54年]	55年	55年]	56年	56年	57年	57年	57年	58年6



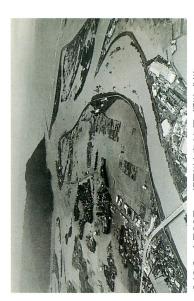
S29.9 台風12号 大瀬川左岸5/400付近の破堤箇所



S29.9 台風12号 市内本町通りの浸水状況



846.8 台風23号 洪水で流失した五ヶ瀬橋



3 台風23号 祝子川上空より五ヶ瀬川、北川



S46.8 台風23号 五ヶ瀬川発電所付近



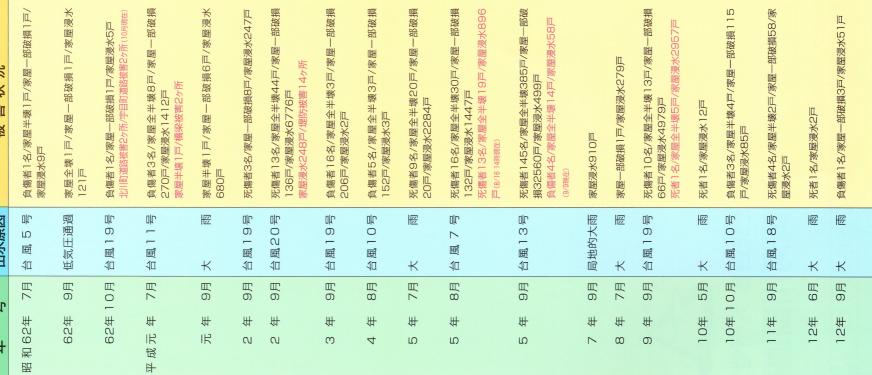
S49.9 台風18号 北川町長井



H5.8 台風7号 五ヶ瀬川(延岡市小峰地区)



※県下被害及びS51年までの流域被害は「宮崎県災異誌」より抜粋 S52年以降の流域被害は延岡河川国道事務所「高水速報」より抜粋 8



黒字…宮崎県下 赤字…五ヶ瀬川流域内

五ヶ瀬川流域内

黒字…宮崎県下

家屋一部破損

負傷者22名/家屋全半壤4戸, 143戸/家屋浸水1戸

台風13号

死者1名/家屋一部破損3戸/家屋浸水103戸

77

7月8月8月

60年



国土交通省 九州地方整備局延岡河川国道事務所

河川についてのお問い合わせは

調査第一課 直通ダイヤル 0982-31-1191

〒882-0803 延岡市大貫町1丁目2889

TEL.0982-31-1155 FAX.0982-33-6907

http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/ E-mail:nobeoka@qsr.mlit.go.jp